

# 学校給食費の公会計化について

---

播磨町学校給食審議会

## 目次

---

1. 学校給食費の公会計化とは
2. 私会計の問題点
3. 公会計化の効果
4. 公会計化の検討課題
5. その他重要な事項
6. スケジュールイメージ

播磨町学校給食審議会

## 1. 学校給食費の公会計化とは

給食費収入や食材費支出を町の予算に計上して運用する方式です。

現在は、「播磨町学校給食会※」が、保護者の皆さまから給食費を徴収して、その中から食材料納入業者に食材費をお支払いする、「私会計」と言われる方式で運用しています。

※播磨町学校給食会は、教育長や学校長、PTA会長などの給食関係者で構成される組織で、円滑適正な学校給食の運営を図ることなどを目的としています。

## 2. 私会計の問題点

私会計での運用は、柔軟な対応が可能というメリットがある一方で、一般的に次のような問題点が指摘されています。

- 1 教員にとって徴収・管理業務は負担が大きい
- 2 口座振替先の指定など一定の制限がある
- 3 学校によって徴収手法が異なる
- 4 その他  
(給食費の徴収や食材料の支払などの法的な管理者が明確でない、学校ごとの現金管理に課題がある、未収金があると食材料納入業者への支払遅延などが生じる など)

### 3. 公会計化の効果

文部科学省の「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」では、次のような効果が見込まれています。

- 1 教員の業務負担の軽減
- 2 保護者の利便性の向上
- 3 徴収・管理業務の効率化
- 4 その他  
(透明性の向上や公平性の確保、学校給食の安定的な実施)

### 4. 公会計化の検討課題

- 1 例規整備  
(条例・規則の制定・改廃や関係法令・各種通知の確認など)
  - 2 徴収・管理業務  
(業務増加に伴う配置人員見直しやシステムの導入など)
  - 3 食材料の調達  
(財務規則に則った契約方法と献立作成や食材選定との調整など)
  - 4 学校給食会  
(廃止も含めた今後の在り方や預金・債権の取扱いの検討など)
  - 5 その他重要な事項※  
(※次項で説明)
- 法制・人事・  
財政・契約・  
電算など  
行政内部で  
検討する事項
- 構成団体に  
検討し、町と  
協議する必要  
がある事項
- など

## 5. その他重要な事項

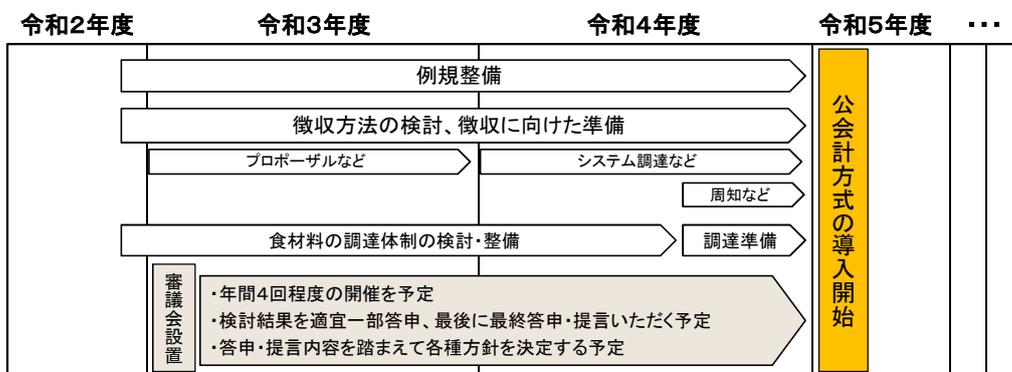
有識者や保護者などの関係者を交えて検討すべき課題として、主に次のような事項が想定されます。

⇒教育委員会から学校給食審議会に諮問し、答申いただく予定。

- 1 播磨町学校給食基本方針(仮称)について 令和5年2月頃
- 2 学校給食費の額の妥当性について 令和4年3月頃  
(エネルギーや栄養素など学校給食摂取基準と献立使用品目の偏りや学校給食費の額との関係性、額の定期的な見直し周期や方法など)
- 3 学校給食の申込方法について 令和4年7月頃
- 4 保護者の意見聴取方法について 令和3年10月頃  
(献立作成や食材選定に際した保護者の意見聴取方法など) など

## 6. スケジュールイメージ

各課題について、並行して検討し、準備を進める予定。



※検討結果により変更する可能性あり